

Chapter

第1章

都市づくりの グランドデザインの役割

Role of the Grand Design for Urban Development



01 位置付け

「都市づくりのグランドデザイン」は、平成28(2016)年9月に東京都都市計画審議会から示された答申「2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について」を踏まえ、目指すべき東京の都市の姿と、その実現に向けた都市づくりの基本的な方針と具体的な方策を示す行政計画(以下「本計画」という。)です。

本計画は、「新しい東京」への3つのシティ、すなわち「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」の実現に向けた「都民ファーストでつくる『新しい東京』～2020年に向けた実行プラン～(平成28(2016)年12月)」(以下「実行プラン」という。)の下、検討を進め、他の政策や計画との整合を図りつつ策定したものです。

なお、本計画は目指すべき都市の姿や戦略を明らかにすることに主眼を置いています。このため、必要な財源やスケジュールは、今後、都市計画区域マスタープラン*や個別の都市計画、また、分野横断的な様々なプロジェクトなどにより、それぞれの事業を進めていく際に明らかにしていきます。

02 目標時期

将来の社会経済情勢の大きな変化に適応でき、持続可能な成長を促すため、おおむね四半世紀先の未来である2040年代を目標時期として設定します。